

中学生向けバリアフリー学習プログラム 試行実施企画書

「誰もが暮らしやすい共生社会について考える」

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団（交通エコモ財団）は、誰もが安全安心に移動することができ、暮らすことのできる人にやさしい環境づくりをめざして活動しております。

この度、エコモ財団は、中学生に誰もが暮らしやすい共生社会について考えていただくための座学（教室での授業）と、実践（ワークショップや疑似体験等）を組み合わせた学習プログラムを作成いたしました。

つきましては、皆様からご意見を頂くための試行を実施したいと考えております。

実施の趣旨をご理解頂き、皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

試行にご協力いただける際は、冊子やワークシートなどご希望の教材をご提供させていただきますので、ご相談ください。

実施目的

中学生の皆様には交通バリアフリーを切り口に、共生社会を目指すために誰もが共に生活することができる社会とはどういうものなのかを考えていただくことを目的としています。

実施対象

中学校 1 年生～ 3 年生

教材内容

- ・冊子：座学で使用し、街、鉄道駅、乗り物を通して交通バリアフリーとは何かを学ぶと共に、自分で考えるためのヒントを掲載しています
- ・冊子の活用方法：教員の皆様は授業を組み立てる際の参考項目や授業進行案を掲載しています
- ・ワークシート：座学やワークショップなどまとめる際に使用することができます（新聞形式と模造紙形式）
- ・ウェブサイト：上記内容が全てウェブサイトで見ることができ、また、冊子に掲載されていない事例も掲載しています。事例写真やイラストなどをダウンロードすることができます

ウェブサイトURL

<http://www.bfed-jrhigh.jp>



実施内容

試行の実施内容や実施時間などのカリキュラム作成は、教員の皆様に実施していただきますが、ご希望があればカリキュラムの作成から当日の試行の際の補助員まで事務局（エコモ）がお手伝いさせていただきます。

ご参考までに授業進行案を掲載いたします。

実施内容は、教室での授業（座学）と、外に出たワークショップや疑似体験（体験）を組み合わせています。（あくまでも一例です）

その1 | 授業時間の目安 100分 ①座学(40分)+②体験(40分)+③まとめ(20分)

- ① 生徒用冊子を使用しながら交通バリアフリーの内容を理解する。
また、当事者からの講演も交えながら進めることもできる。
- ② 人数によってはペア、グループになった上で、車いす体験、高齢者疑似体験、アイマスク体験などを選択し実施する。
- ③ 最後に座学と体験を通して感じたことや、これから自分たちにできることを個人であれば作文にまとめる。



その2 | 授業時間の目安 200分 ①座学(20分)+②実践(まとめ、発表含む)(180分)

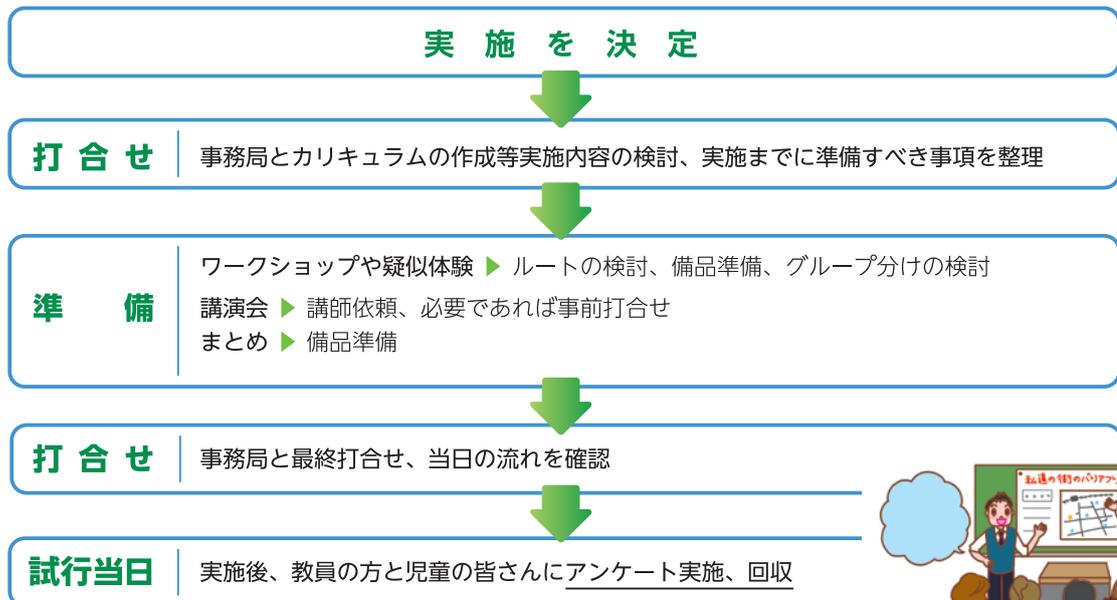
- ① 生徒用冊子を使用しながら交通バリアフリーの内容を理解する。
- ② グループに分かれ座学で学んだことを元にテーマを設定し、調べることなど計画を立てる。(30分程度)
次に、ワークショップを実施し、発表するための準備を進める。(120分程度)
最後に、お互いに発表し、気づいたことやこれから自分たちにできることをまとめる。(30分程度)

その3 | 授業時間の目安 50～100分 ①体験(30～50分)+②まとめ(20～50分)

- ① グループに分かれるか、ペアになり、車いす体験、高齢者疑似体験、アイマスク体験などを選択し実施する。
- ② 体験を通して感じたことやこれから自分たちに出来ることを作文にまとめる。時間があればお互い発表し合い、気づいた事をメモする。

実施までの流れ

※事務局がお手伝いする場合



お問い合わせ先

事務局 | (公財)交通エコロジー・モビリティ財団バリアフリー推進部 担当者：松原、澤田、竹島
Email : info-bfedte@bfed-te.jp TEL : 03-3221-6673 FAX : 03-3221-6674
〒102-0076 東京都千代田区五番町10 五番町KUビル3階



公益財団法人

交通エコロジー・モビリティ財団

Foundation for Promoting Personal Mobility and Ecological Transportation